

## 情報セキュリティ人材育成プログラムを踏まえた 2012 年度以降の当面の課題等について

(関連部分抜粋)

### (2) 政府機関等の情報セキュリティ担当者

#### ② 情報セキュリティリスクに確実に対応できる職員の採用・育成

<今後実施すべき施策>

##### ○人事ローテーションの工夫

- ・各府省庁等の情報セキュリティ担当部署と内閣官房情報セキュリティセンターで人事交流を行うなど、職員の希望も踏まえつつ、情報セキュリティ担当者が長い間情報セキュリティに係る業務に携われるよう、人事ローテーションの工夫を検討する(関係府省庁)。

##### ○優秀な外部人材の活用

- ・官民の人事交流等により情報セキュリティに係る外部人材を活用する人事の在り方を検討する(関係府省庁)。

##### ○政府機関や独立行政法人等をハブとしたセキュリティ人材のネットワーク形成

- ・政府機関や独立行政法人等がハブとなり産学官のセキュリティ関連業務を交互に経験できる機会を設けることなどにより、幅広いネットワークの形成を図り、情報セキュリティ人材を育成する(関係府省庁)。

#### ③ 政府職員全体の情報セキュリティ意識の啓発と能力の底上げ

<今後実施すべき施策>

##### ○公務員採用時における情報セキュリティ関連素養の確認

- ・国家公務員採用に際して情報セキュリティに関する素養の確認に努めるよう、関係府省庁に対して要請する(内閣官房)。